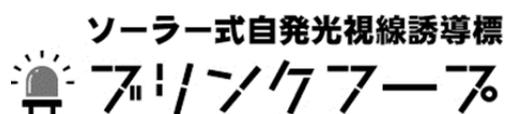


取扱説明書



【型番】IZ-BHJJY-80

第 1 版

このたびは弊社製品をお選びいただき誠にありがとうございます。本製品を安全にご使用いただくために、必ず本取扱説明書をお読みの上、ご使用していただきますようお願いいたします。

作成者	株式会社イズム
作成日	2022年5月31日
最終更新日	2022年5月31日

注意事項



日照条件について

本製品はソーラー発電式のため、以下の箇所への設置はお止めください。

- 日照の悪い場所(午前 10 時～午後 3 時の間に長時間日陰が生じる場所)
- トンネル内や高架下
- 街路灯の直下など夜間でも明るい場所
- 樹木の影



日本標準電波(JJY)受信条件について

本製品は日本標準電波(JJY)の受信をトリガーとして発光点滅を行うため、受信環境に影響が生じる場所では使用できません。以下の場所への設置はお止めください。

- 水銀灯の直下または近接した場所
- 高圧線(電線)、電車の架線、飛行場(通信施設)の近く。
- 山の谷間など AM ラジオが受信しにくい場所。



受信環境を簡便に判断する方法

AM ラジオを一番低い周波数(放送波の入らないところ)にします。サーという一定のノイズ音が聞こえる状態です。上記のノイズを発生する機器に AM ラジオを近づけた時、ノイズ音が大きくなること(ブーン、バリバリ、ガーといった音)を確認します。本製品の設置を検討する場所で、ノイズ音が小さいことを確認してください。大きなノイズ音がする場所では受信は困難です。

※引用元: 日本標準時(JST)グループ Website (https://jyy.nict.go.jp/QandA/FAQ/malfunc_denpadokei.html#q5)



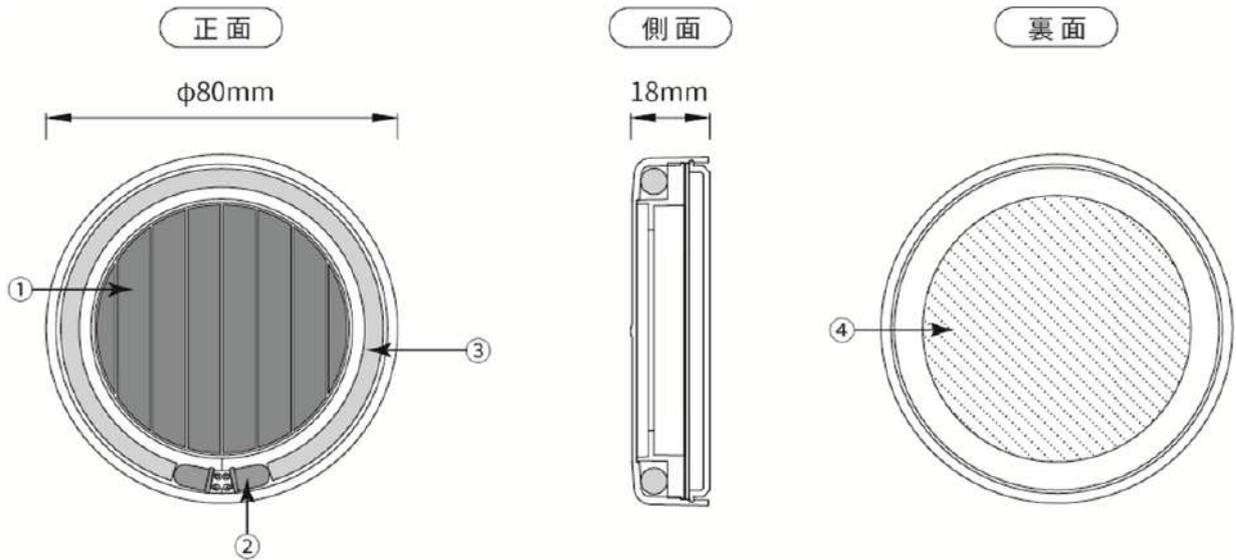
その他

- ソーラーパネル表面の汚れ等はすみやかに除去してください。十分な発電が得られなくなります。
- 本製品の蓄電部に使用している電気二重層コンデンサはメンテナンスフリーです。分解・改造は行わないでください。お客様で分解・改造した場合は、修理等に応じられません。
- 破損や動作不良の原因になるため、本製品に強い振動や衝撃を与えないでください。

項 目	規格・仕様
ソーラーパネル	アモルファスシリコン太陽電池 5.1V・22.9mA 以上
蓄電装置	電気二重層コンデンサ 2.7V・22F
L E D	緑 2 個
LED1 球あたり輝度(mcd)	30,000mcd 以上
本 体	ポリカーボネイト樹脂加工品
点滅周期	約 120 回/分
作動時間	日没時自動点滅開始、日昇時自動消灯
同期装置	日本標準電波(JJY)受信
使用温度	-20℃～+70℃
充電時間	南向 30° 快晴時 1 時間以内
外形寸法	φ 80、厚さ 18 mm
質 量	約 73g

▲ 主な仕様

本体名称



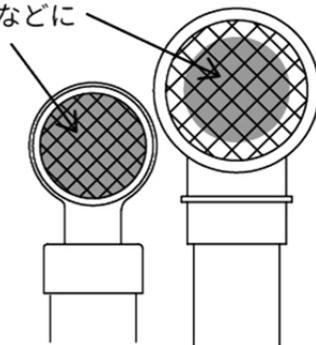
▲ 本体外観

品番	品名	説明
1	ソーラーパネル	太陽光を受けることにより発電し、電力を発生します。 曇りや雨などの低照度条件下でも安定した発電が行えるタイプを採用しています。
2	LED	同じエネルギーで人間が最も明るく感じる色である緑色 LED を採用しています。
3	導光棒	LED の光を導光棒内部で拡散させて、導光棒全体を均一に発光させます。
4	構造用接合テープ	様々な被着体に対して超強力に接着する高性能な両面テープです。

製品概要

ブリンクフープ(以下、「本製品」といいます。)は、導光技術を応用したソーラー式の自発光視線誘導標です。Φ80mm で厚さ 18mm と小型のため、既存の反射式視線誘導標等(以下、「既存施設」といいます。)に貼り付けて施工できます。追加的なコストをかけずに既存施設を有効活用することで、交通安全対策を講じることができます。

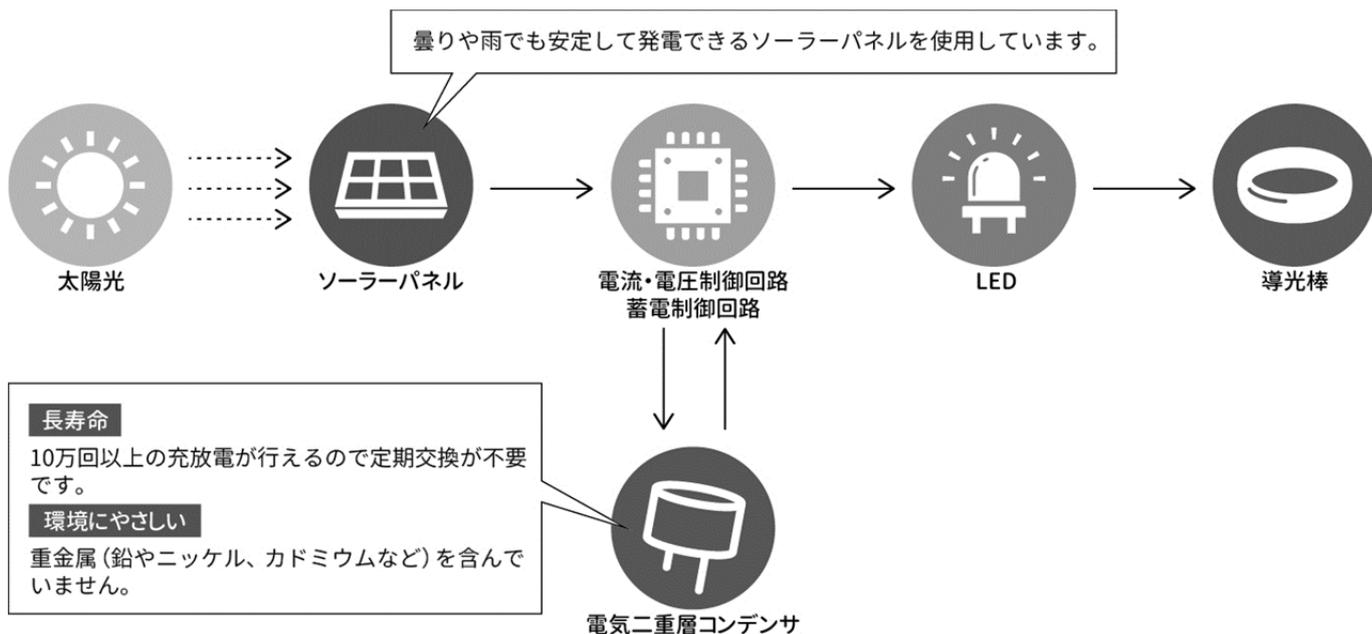
貼り付け面積が確保できる
反射式視線誘導標などに
適用できます。



本製品の貼り付けに必要な面積はΦ80mm です。
この貼り付け面積が確保できる相手方であれば、適用可能です。

動作概要

- ①ソーラーパネルにより太陽光を電気エネルギーに変換し、蓄電装置である電気二重層コンデンサに充電します。
- ②設置場所の周囲が暗くなると自動的に点滅を開始します。
- ③日本標準電波(JJY)を受信することにより、複数個の製品が同時に点滅します。
- ④設置場所の周囲が明るくなると自動的に消灯します。



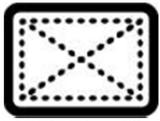
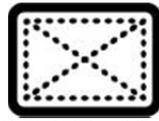
▲ ブリンクフープ動作概要図

設置に適した箇所

- 発光点滅による視線誘導や注意喚起を行いたい箇所。
- 霧や吹雪等で視程障害が発生しやすい箇所。
- 急カーブ区間等で線形が判断しにくい箇所。
- 過去に交通事故が多発している箇所。

施工要領

施工作業に必要な物品

必要物品	 水拭き用の雑巾	 乾拭き用の雑巾	 中性洗剤	 アルコール系洗剤	 カゴ
数量	1枚	1枚	1本	1本	1個
備考	市販の厚手ウェットタオルでも代替できます。		反射体表面に排ガス等の汚れが付着している場合に使用します。	キッチン用アルコール除菌スプレーなどでも代用できます。	雑巾や洗剤、本製品を入れておく。持ち歩きながら作業できるので便利です。

※施工数量や既存の反射式視線誘導標の汚れ具合によって、雑巾などの数量は適宜調整してください。



注意

- 施工作業には、0.4㎡のスペースが必要です。施工作業前に十分なスペースがあるかご確認ください。
- 雨や雪の日の施工作業はお止めください。水分が構造用接合テープと反射体の間に付着すると接着不良が生じる場合があります。
- 反射体が破損または欠損している場合の施工はお止めください。貼り付け面積が確保できず接着不良が生じる場合があります。
- 反射体の清掃にはシンナー系溶剤は使用しないでください。反射体と本製品のケース表面を溶かし、変形させる場合があります。

施工手順

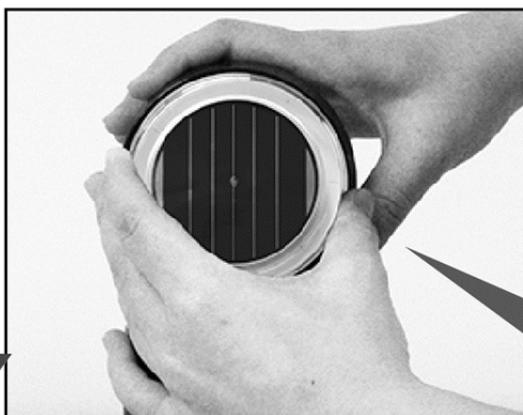
手順1から手順3までの所要時間..約10分



[手順1]
既存施設の反射板表面の汚れを拭き取る。厚手のウェットタオルなどで拭いた後、乾拭きします。



[手順2]
本体背面にある、構造用接合テープのはくり紙を剥がします。



[手順3]
本体側面にある、電波受信用のアンテナ位置を示した▲シールを確認し、▲を天に向けた状態で貼り付ければ完了です。



納入時は、電気二重層コンデンサは放電しています。発光点滅を確認するためには、晴天時に屋外で3時間以上、直射日光による充電を行ってください。
※曇りでも充電はできますが、晴天時の約2倍屋外環境下に置いてください。